

報道関係者 各位

新型インフルエンザによる重症例の発生について

9月17日、東京都より、新型インフルエンザによる重症例の発生について、別添の通り情報提供がございましたので、お知らせいたします。

なお、患者の個人情報については、特段のご配慮をお願いいたします。

平成 21 年 9 月 17 日
東京都感染症対策本部
福祉保健局

新型インフルエンザに関する東京都の対応等について(第 195 報)

(新型インフルエンザによる重症例の発生について)

平成 21 年 9 月 17 日、都内保健所から、新型インフルエンザによる合併症のため人工呼吸器を装着した患者の報告がありましたので、当該事例の概要等につき、以下のとおりお知らせします。

1 概要

患者は、都内在住の 6 歳男子。平成 21 年 9 月 11 日より発熱、咳そうが出現し、9 月 12 日、38℃まで上昇したため都内の病院を受診したところ、胸部エックス線写真で肺炎が疑われ入院となった。入院後、呼吸状態が増悪し、低酸素状態となったため、同日、人工呼吸器を装着された。インフルエンザ迅速キット陽性で、タミフルを投与したが、病状の改善が認められず、他の細菌検査の結果も陰性だったため、9 月 17 日に遺伝子検査を実施し、新型インフルエンザが確定した。

2 現在の患者の状況

気管内挿管にて人工呼吸器装着中。タミフル投与終了。ステロイドを投与され、現在体温 37.6℃、容態は安定している。喘息の既往があり通院していた。